

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成27年8月27日(2015.8.27)

【公表番号】特表2014-521042(P2014-521042A)

【公表日】平成26年8月25日(2014.8.25)

【年通号数】公開・登録公報2014-045

【出願番号】特願2014-520609(P2014-520609)

【国際特許分類】

F 1 6 B 39/28 (2006.01)

F 1 6 B 35/04 (2006.01)

F 1 6 C 35/07 (2006.01)

F 1 6 C 19/06 (2006.01)

B 6 2 D 3/12 (2006.01)

【F I】

F 1 6 B 39/28 A

F 1 6 B 35/04 M

F 1 6 B 35/04 L

F 1 6 C 35/07

F 1 6 C 19/06

B 6 2 D 3/12 5 0 7

【手続補正書】

【提出日】平成27年7月6日(2015.7.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ユニットのハウジング内(2)への固定のための装置、特に、自動車のステアリングギヤのピニオン(1)の位置決め軸受(3)の固定のための装置であって、

当該装置は、ハウジング(2)の孔(2a)内に挿入される固定要素を有し、

前記固定要素(5)は、少なくとも1つのラチェットレバー(9)が設けられていて、前記少なくとも1つのラチェットレバー(9)は、当該ラチェットレバーの自由端上に配置されたラッチ突部(12)によって、ハウジング(2)の孔(2a)内の歯付き形状部(13)の歯のギャップ(14)にラッチするか、

または、少なくとも1つのラチェットレバーが、ラッチ突部を有して、孔(2a)内に配置されていて、当該ラッチ突部が固定要素(5)の歯付き形状部の歯のギャップにラッチする

ことを特徴とする装置。

【請求項 2】

前記固定要素(5)は、外側ネジ部(8)によってハウジング(2)の孔(2a)の内側ネジ部に接続される固定ネジとして実現されており、

当該固定ネジには、その周上に分布配置されたラチェットレバー(9)が設けられており、

前記ラチェットレバー(9)は、各々、当該ラチェットレバーの自由端上に配置されたラッチ突部(12)によって、ハウジング(2)の歯付き形状部(13)の歯のギャップ(14)にラッチする

ことを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記固定ネジ (5) は、中空ネジとして実現されている

ことを特徴とする請求項 2 に記載の装置。

【請求項 4】

少なくとも 4 つのラチェットレバー (9) が、前記固定ネジ (5) の全周に亘って分布配置されている

ことを特徴とする請求項 2 または 3 に記載の装置。

【請求項 5】

前記ラチェットレバー (9) は、前記固定ネジ (5) の全周に亘って、非対称の角度ピッチで分布配置されている

ことを特徴とする請求項 4 に記載の装置。

【請求項 6】

ハウジング (2) の歯付き形状部 (13) の角度ピッチ (17) は、ラチェットレバー (9) の角度ピッチ (16) と比較して、明らかに小さい角度ピッチで実現されている

ことを特徴とする請求項 5 に記載の装置。

【請求項 7】

前記固定要素 (5) には、幾つかの径方向に伸びるリブ形状のキャリア部 (7) が設けられている

ことを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれかに記載の装置。

【請求項 8】

前記固定要素 (5) は、プラスチック材料体として実現されている、特に繊維補強された熱可塑性材料体で、射出成形部品または多成分部品として製造されている

ことを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれかに記載の装置。

【請求項 9】

熱可塑性材料体内の繊維アライメントは、より大きな膨張の方向に伸びている

ことを特徴とする請求項 8 に記載の装置。

【請求項 10】

前記プラスチック材料体には、中央射出点 (19) が設けられている

ことを特徴とする請求項 8 または 9 に記載の装置。

【請求項 11】

前記ラチェットレバー (9) のラッチ突部 (12) は、各々、ハウジング (2) の当接面 (15) 上に支持されている

ことを特徴とする請求項 1 乃至 10 のいずれかに記載の装置。

【請求項 12】

前記固定ネジ (5) の外側ネジ部 (8) は、メートル角度ネジ部として実現されている

ことを特徴とする請求項 2 乃至 11 のいずれかに記載の装置。

【請求項 13】

前記固定ネジ (5) の外側ネジ部 (8) は、円錐ネジ部として実現されている

ことを特徴とする請求項 2 乃至 11 のいずれかに記載の装置。

【請求項 14】

前記プラスチック材料体は、多成分射出成形部品として実現されており、

シールリング (6) が、射出成形工程でプラスチック材料体に対してソフト材料として固定的に結合される

ことを特徴とする請求項 8 に記載の装置。